

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（8月）

留学先：フィンドレー大学（The University of Findlay）

氏名：小田悠菜

<自己紹介>

こんにちは！アメリカのオハイオ州にあるフィンドレー大学で留学を始めた国際地域学部3年小田悠菜です。2019年の8月から2020年の2学期間（約9か月間）の留学を予定しています。報告書では私がこちらの大学で履修している授業や普段の生活について書いていこうと思います。また、単位交換のことについても触れていけたらなと思います！

<1 週目>

成田空港から11時間のフライトを終え、到着すると現地の学生の方々がデトロイト空港に迎えに来てくれそのままフィンドレー大学へ。到着すると、フィンドレー大学のこちらでいう国際課（Buford Center）ですすでに到着していた日本人留学生と数名の現地の学生さんとで簡単な夕食を食べました。その後、一時間もしないうちに日用品を購入するため大学から車で5分ほどのところにあるWalmartへ行きました。このWalmartには食料品から日用品まで生活に必要な日用品がほぼすべて揃っています。福井にあるPlant（大型スーパーマーケット）がさらに大きくなった所という感じでしょうか（笑）

到着して一週間は「オリエンテーションウィーク」で休む暇もなく毎日、活動や催し物がありました。フィンドレー大学に入学してきた新入生たちに混ざって大学周辺でボランティア活動をするservice projectやArch Ceremony（入学式のようなもの）、大きなバルーンアスレチックが登場するBlock Partyに参加してきました。これらの多くのイベントを学生が主体となって開催しているのが印象的でした。

<2 週目>

学校にはFree Storeという学生が使わなくなった食器や鍋などを寄付している場所があります。私たち留学生などはそこにある日用品を無料でもらうことができます。そして、到着して2週目ようやくそれらの調理器具を利用して自炊を始めることができました。温かいご飯のおいしさを改めて感じることができました。また、この週から授業が始まりました！今期は留学生が受講する「Writing」の授業に加え、他のフィンドレー大学の学生と同じように「The principle of Macroeconomics」や「Art Appreciation」という授業を履修しています。週末には、学校からレンタルした自転車を利用してフィンドレーのDowntownに行ってきました。フィンドレーに来る前は何もない田舎の風景を想像していましたが、wall artが町のいたるところに施され、カラフルでおしゃれな空間でした。ただ、Downtownのストリートを過ぎると住宅街が広がっていました。

<3 週目>

3 週目は少しずつこちらの生活にも慣れてきて、夜遅くまで授業の課題に取り組むようになりました。留学生向けの授業は福井大学で受講していた授業スタイルに似ており、先生も分かりやすい英語をはっきりと話してくれるため、ほとんど問題なく授業を受けることができています。しかし、現地の学生が取る授業となると専門的な用語も増え予習、復習が欠かせません。

<最後に>

こちらの生活に少し慣れてきたとはいえ、まだまだ不安なことや分からないことばかりです。福井大学にいるときは留学生とも多く交流があり異文化への適応性はあると思っていたのですが、現在は無意識に現地の人々と話すことに委縮してしまう時が多々あります。福井大学にいた頃は留学生同士ばかりで仲良くしている留学生たちを見て「なぜ、日本に留学しに来ているのに日本人とあまり交流しないのだろう」と思っていたのですが、今なら彼らの気持ちがとても分かるような気がします。

しかし、少しずつ新しい友達も増えてきたので全てをポジティブに捉え積極的に英語を使って頑張りたいと思います！来月はもう少し詳しい授業や生活のスケジュールを記載できればと思います。

(左から順に：キャンパス内、Walmart、Downtown)

